

情報活用能力育成のための指導事例【小学校 第5学年 社会】

単元・題材名	工業生産を支える人々ー自動車づくりを振り返ろうー	指導時間（本時）	10～11／11
本時の目標	教科・科目	・ これまで学習してきたことを基に、夢の車を自分たちで考えることができる。	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータなどを使って、プレゼンテーションの資料を作る。（モA42-3-010）</li> </ul> <p>■受け手の状況などを踏まえた発信・伝達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的に応じた、効果的な伝達方法を考える。（モA42-3-060）</li> <li>・ 聞き手の反応を見ながら話す。（モA42-3-070）</li> </ul>	
活用する主なICT機器等	■コンピュータ ■プロジェクタ ■ソフトウェア（プレゼンテーション）		
本時の概要	調べ学習で情報収集したものをまとめさせる際に、プレゼンテーションソフトを積極的に活用させ、分かりやすく相手に伝える方法を考えさせる。		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	<p>1 これまで学習してきたことの振り返りをする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>5年2組モーターショーをしよう。</p>	<p>○ プレゼンテーションソフトを用いて、前時までの振り返りを行う。</p> <p>※ 短時間で、効率的な振り返りができる。</p>
	展開	<p>3 それぞれのグループが考えた夢の車を発表する。</p>	<p>◎ それぞれのグループでまとめたことをプレゼンテーションソフトで発表させる。</p> <p>※ 聞き手に分かりやすく発表することを意識させる。</p>
	終末	<p>4 感想を発表する。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	
使用した教材・資料（コンテンツ）	<p>○名称・出典・内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自作教材（プレゼンテーションソフト）</li> </ul>		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットやプレゼンテーションソフトを活用させるためには、各教科等の指導の中で、キーボードでの文字入力や電子ファイルの保存・整理などができるようにしておく。</li> <li>・ 受け手の状況などを踏まえて、調べたものをまとめたり発表したりすることで、分かりやすく伝える発信能力を身に付けさせる。</li> </ul>		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べ学習では、インターネットを積極的に活用させ、引用する際の注意点や静止画等の著作権にも触れるようにしている。</li> <li>・ 調べたことをまとめる学習でプレゼンテーションソフトを積極的に活用させ、適切なフォントの色や大きさ、アニメーションの効果等について考えさせるようにしている。</li> </ul>		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の[実践]力」→ [実践]，「情報の科学的な[理解]」→ [理解]，「情報社会に参画する[態度]」→ [態度]  
「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号